

万全の準備で期末テストに臨もう！

来週の9月1日(木)、2日(金)の前期期末テストまで1週間を切りました。夏休み中からテストに備えて勉強をしっかりと進めてきた人にとっては、この段階であせることなどないかと思いますが、中にはこれから必死に勉強を進めなければならない人もいられるかもしれません。

学習は日々の積み重ねです。テスト直前の「詰め込み」や前日の「一夜漬け」は、望ましい学習方法ではありません。そうは言ってもテストまでは1週間弱。残された期間はわずかですが、この期間でできることを考え、徹底的に取り組んでいきましょう。

テストまでの日数が限られるため、効率よく学習を進めることが重要になってきます。分からない問題や苦手な問題について、一人悩んで苦勞して答えを見つけることは、効率という点で問題があります。また、苦手な教科については勉強の仕方そのものが分からないという人もいられるはずです。そんな人に一番のオススメは「人に聞く」ということです。



- 授業後すぐに先生を捕まえて、分からない問題や内容を質問する。
- 休み時間に、仲間同士で聞き合い、教え合う。問題を出し合う。
- 昼休みや放課後に職員室へ行き、先生から勉強を教えてもらう。

先生への質問は、教科担任に限られません。「この先生に教えてもらいたい」と、質問する先生を自分で選べばいいのです。分からない内容や苦手な内容について、よりよく理解するためにできる方法を具体的に考え、実際に行動として取り組むことが大切です。

もし、校長である自分にできることがあれば、いくらでも皆さんの勉強のお手伝いをしますよ。理科と数学であれば、質問OK(他教科は…)。校長室で待っています。

部活動地域移行に向けて準備を進めています！

国は、休日の部活動の地域移行を令和8年度から完全実施するために、来年度から3年間を「改革集中期間」として移行の準備に入ります。既に様々な検討がされており、新潟市においても数年前からモデル的な取組が始まっているところです。

大形地区では、この動きを見据え地域で部活動を支えようと、「大形中学校後援会」という組織が令和2年度末

に立ち上がりました。この組織によって、大形中の部活動は指導者の確保や資金援助の面で力強い支援をいただいています。また、大形中では来年度から移行を実施できるよう、現在、準備を進めています。校内での検討を進め、計画(案)の骨子がほぼ固まりましたので、ポイントとなる点についてお知らせします。



〔基本方針〕 部活動に所属する生徒全員の活動を確保するために、大形中で完結できる形で移行します。	〔活動場所〕 学校のグラウンド、テニスコート、体育館、武道場を活用します。吹奏楽部については、音楽室や教室を使えるようにします。
〔運営母体〕 基本的には、部活動保護者会が中心となって休日の部活動運営を行ってまいります。	〔見守り〕 原則、保護者2名の見守りのもとで活動を行います。指導者がいなくても活動可とします。
〔指導者〕 地域人材を確保し、部活動サポーターとして指導を依頼します。休日の部活動指導を希望する教員は、これまで通り指導を行います。	〔その他〕 部活動を、これまで以上に「生徒の自主性・主体性の育成」の機会として位置付けます。

詳細は、9月に説明会を開催してお知らせします。多くの保護者の皆様からのご参加をお待ちしています。

大形中学校 校長室だより
令和4年8月26日
第13号

夢・希望・未来